



## ご挨拶

グラクソ・スミスクライン健康保険組合 理事長

小野 典子

日頃より、当組合の事業運営に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私は2025年12月1日付で健康保険組合の理事長を拝命いたしました。今後は、職員一同で力を合わせ、医療保険制度を安定的に運営するとともに、皆さまの健康づくりを支える保健事業を着実に進めてまいります。

日本を取り巻く社会保障・医療環境は、少子高齢化の進行や医療技術の高度化により、大きな転換期を迎えています。医療費は年々増加し、現役世代の負担の在り方についても議論が続いています。こうした状況の中、医療保険制度を将来にわたり安定的に維持していくためには、一人ひとりが制度への理解を深め、ご自身の健康と向き合うことがこれまで以上に重要です。

私たちは単一健康保険組合として、事業主と連携しながら、加入者の皆さまの健康維持・増進を事業の柱として取り組んできました。健診や各種保健事業を通じて、病気の予防・早期発見につなげ、健康寿命の延伸を目指すことは、ご本人の安心だけでなく、ご家族の健やかな生活を支える基盤にもなります。こうした取り組みの積み重ねが、医療費の適正化にもつながると考えています。

また、医療DXの一環として、2025年12月2日からマイナ保険証を基本とする仕組みへ移行しました。医療情報の活用による適切な医療の提供や手続きの簡素化が期待される一方、利用に際して不安を感じる方もいらっしゃるかと思います。私たちは制度の趣旨やポイントを分かりやすくお伝えし、円滑な利用につながるよう引き続き取り組んでまいります。

さらに2026年4月1日からは、子ども・子育て支援のための支援金制度が始まります。社会全体で次世代を支える取り組みとして、その意義を踏まえつつ、健全な制度運営に努めてまいります。

今後も、健診をはじめとするさまざまな保健事業を通じて、皆さまがご自身やご家族の健康に目を向けるきっかけを提供し、日々の健康づくりを継続していただけるよう取り組んでまいります。日常の小さな一歩が将来の健康につながります。ぜひこれらの取り組みにご参加ください。